

2025年3月期 第2四半期決算概要

- 建築用ガラス事業を中心に欧州経済減速の大きな影響が継続。
売上高は為替影響もあり前年同期と同水準だが、営業利益は減益
- 欧州経済減速の影響を受けた上期実績を踏まえ、営業利益、税引前利益、当期利益の予想を下方修正。
欧州で複数のフロート窯の停止や脱コモディティ製品の強化を進める等の施策を推進。
これらも含め、グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施

1. 2025年3月期 第2四半期決算

- 第2四半期（7-9月期）の売上高は2,060億円（前年同期比△62億円、△2.9%）、営業利益は55億円（同△60億円、△52.3%）
- 累計の売上高は4,224億円（前年同期比+23億円、+0.5%）、営業利益は102億円（同△158億円、△60.7%）と、増収減益。売上高は販売価格の改善等に伴い自動車用ガラス事業および高機能ガラス事業が寄与したが、営業利益は欧州の経済減速の影響を受け、建築用ガラス事業を中心に全事業で減益
- 金融費用（純額）は126億円と、前年の140億円から15億円改善。持分法による投資利益は25億円（同+4億円）に改善。なお前年度は、ロシアのジョイント・ベンチャー売却に伴い、一過性の利益として持分法適用会社に対する金融債権の戻入益37億円と、持分法投資に関するその他の利益11億円を計上
- 法人所得税は通期の見積実効税率に基づき計算した結果36億円（前年同期は57億円）となり、これにより当期損失は34億円（前年同期比△139億円、前年同期は105億円の当期利益）、純損失*は39億円（同△136億円、98億円の純利益）と赤字に転落
- 自己資本比率は、為替（円高）影響および純損失の計上により11.1%（前期末比△1.2pt）に低下。フリー・キャッシュ・フローは、営業減益および運転資本の季節変動等により286億円のマイナス（前年同期比△101億円）。
有利子負債は主にフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより5,310億円（前期末比+246億円）

<損益計算書および財務指標>

(億円)	7-9月期（3か月）			累計（6か月）		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	2,122	2,060	△ 62	4,202	4,224	23
営業利益	115	55	△ 60	260	102	△ 158
営業利益率	5.4%	2.7%	△ 2.7 pt	6.2%	2.4%	△ 3.8 pt
個別開示項目（純額）	11	△ 2	△ 13	3	△ 0	△ 3
個別開示項目後営業利益	125	53	△ 73	263	102	△ 161
金融費用（純額）	△ 77	△ 66	11	△ 140	△ 126	15
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	37	-	△ 37
持分法による投資損益	12	14	2	22	25	4
持分法投資に関するその他の利益	△ 0	-	0	11	-	△ 11
税引前利益	61	1	△ 60	193	2	△ 192
当期利益	30	△ 61	△ 90	105	△ 34	△ 139
純利益*	27	△ 63	△ 90	98	△ 39	△ 136
EBITDA	226	175	△ 51	480	350	△ 130
フリー・キャッシュ・フロー	130	30	△ 100	△ 186	△ 286	△ 101

*親会社の所有者に帰属する当期利益（△損失）

(億円)	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
総資産	10,076	9,812	△ 263
親会社の所有者に帰属する持分	1,243	1,093	△ 150
自己資本比率	12.3%	11.1%	△ 1.2pt
有利子負債	5,065	5,310	246

<各事業の概況>

建築用ガラス事業	欧州を中心に多くの地域で販売数量が減少し販売価格も下落したため、前年同期比で減収減益。ドイツのフロート窯 1 基での定期修繕前の早期生産停止を 6 月より実施。1 月よりさらにドイツのフロート窯 1 基の生産停止を決定。太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調継続。昨年 12 月から稼働したマレーシアの新設備での生産も収益に貢献。米国の既存フロートラインの転換も順調に進捗
自動車用ガラス事業	欧州での自動車生産減少、アジアと北米の一部取引先での生産停止の影響を受け販売数量の回復ペースが鈍化した。価格転嫁の進展と円安による影響もあり累計では増収。営業利益は人件費等その他コストが上昇した影響を受け減益
高機能ガラス事業	需要が回復し増収。営業利益はその他コスト増加に伴い前年同期と同水準

(億円)	2024年3月期		2025年3月期		増減	
	7-9月期	累計	7-9月期	累計	7-9月期	累計
売上高						
建築用ガラス事業	972	1,929	898	1,800	△ 74	△ 130
自動車用ガラス事業	1,043	2,052	1,037	2,173	△ 6	121
高機能ガラス事業	99	199	123	247	24	48
その他	8	22	2	4	△ 6	△ 17
売上高合計	2,122	4,202	2,060	4,224	△ 62	23
営業利益						
建築用ガラス事業	99	218	33	67	△ 66	△ 151
自動車用ガラス事業	31	63	10	35	△ 21	△ 28
高機能ガラス事業	19	40	19	39	0	△ 1
その他	△ 34	△ 61	△ 7	△ 38	27	22
営業利益合計	115	260	55	102	△ 60	△ 158

2. 2025年3月期 業績予想

- 欧州経済の減速の影響を大きく受けた上期の業績および下期見通しを勘案し、通期の営業利益、税引前利益、当期利益予想を下方修正
- 主要通貨について 2024 年 3 月期より円安の見込
- エネルギーや原材料価格は安定的に推移するが、インフレ傾向を反映し人件費等その他コスト増加は継続
- グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施

<業績予想>

(億円)	2025年3月期 上期予想 (前回)	2025年3月期 上期実績	2025年3月期 通期予想 (前回)	2025年3月期 通期予想 (今回)	増減	2024年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,100	4,224	8,400	8,500	100	8,325
営業利益	120	102	300	260	△ 40	359
個別開示項目(純額)	-	△ 0	-	20	20	1
個別開示項目後営業利益	120	102	300	280	△ 20	360
金融費用(純額)	△ 130	△ 126	△ 280	△ 270	10	△ 282
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	-	37
持分法による投資利益	25	25	50	50	-	51
持分法投資に関する その他の利益	-	-	-	-	-	10
税引前利益	15	2	70	60	△ 10	176
当期利益(△損失)	10	△ 34	20	10	△ 10	109
純利益(△損失)*	0	△ 39	0	0	-	106

*親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における財務目標の進捗状況

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2025年3月期（4-9月期） 実績
収益性 (P/L)	営業利益	640億円		102億円：2025年3月期第2四半期は55億円と、第1四半期（48億円）からは改善
	営業利益率 (ROS)	7%	10%以上	2.4%：2025年3月期第1四半期（2.2%）から改善
▼				
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△286億円：7-9月期ではプラスだが、営業減益および運転資本の季節的な変動により累計のフリー・キャッシュ・フローはマイナス。営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本の季節的増加の抑制が営業減益の影響を軽減
	有利子負債	4,420億円		5,310億円：営業減益および運転資本の季節的な変動に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより増加
▼				
財務基盤の安定化 (B/S)	自己資本比率	15%		11.1%：前期末から1.2pt低下

4. 欧州の事業環境と施策

欧州の事業環境と施策		NSG GROUP
<p>欧州ではエネルギー効率改善のためのリノベーション需要は中長期的に拡大。 ダウンストリーム強化による脱コモディティ製品化により対応</p>		
<p>1. 欧州の事業環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 直近ではインフレ拡大、高金利の継続に伴う経済減速の影響を大きく受けて需要が減少 金利の低下が始まっており、それに伴う段階的な経済回復を期待 エネルギー効率改善のためのリノベーション需要は中長期的に拡大 		
<p>2. 施策～「2030 Vision : Shift the Phase」の「Business Development」に基づく脱コモディティ製品化</p> <ul style="list-style-type: none"> アップストリーム（板硝子生産工程）の削減 <ul style="list-style-type: none"> 英国でフロート板ガラスと型板ガラスの溶融窯を共用化（2023年4月21日公表） ドイツ・パイアハマー工場のフロート窯1基での定修前の早期生産停止（2024年3月19日公表） ドイツ・グレートバック工場のフロート窯1基での生産停止（2024年10月10日公表） ダウンストリーム（板硝子加工工程）の脱コモディティ製品強化 <ul style="list-style-type: none"> 複層ガラス、トリプル複層ガラス（主にポーランド） 先進的なコーティング技術を活用した製品低放射（Low-E）ガラス等（英国、ポーランド） 大型ラミネート合わせガラス（ドイツ） 		

<お問い合わせ>

（報道関係等） 広報部（お問合せページ） <https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>